

### 国体に向けた 施設整備

小野 欽市 議員  
(自民みらい/津市選出)



#### 問

平成33年に本県で開催予定の国体に向けた施設整備については、厳しい財政状況の中、すべてを県で行うのではなく、市町と連携した取り組みが必要ですか。

市町が③合併特例債を活用した施設整備を行う場合に、県が一定の支援を行い、運用についても県と市町が共同で行うなどの方策はとれませんか。



#### 答

市町においても、大規模大会が開催でき、地域の核となる施設が整備されることはスポーツによる地域活性化につながるものと考えます。合併特例債など国の諸制度を活用した施設整備は大変有効な手法であり、今後、市町と十分意見交換を行い、県の支援の在り方について検討していきたいと考えます。

○三重県行財政改革最終案  
ほか

### 海岸堤防の老朽化対策

下野 幸助 議員  
(新政みえ/鈴鹿市選出)



#### 問

県内の海岸堤防については、空洞化が確認され対策が必要な136カ所のうち、平成24年度に40カ所の老朽化対策を行うことになっていますが、どのような基準で選定するのかについて伺います。

また、残りの部分については、今後どのような計画で進めていくのかについてもお聞かせください。

#### 答

地震や津波に対して弱点となる空洞が確認された136カ所のうち、対策を予定している40カ所の選定に際しては、まずは堤防の背後地に人家の多い箇所から対策を実施していく予定です。

残る箇所は、平成25年度以降の3年間で、海岸事業の中でも最優先で補強対策を進めます。



空洞化した堤防の内部

○三重県の経営  
ほか

### 地方分権の実現

石田 成生 議員  
(自民みらい/四日市市選出)



#### 問

県の予算の歳入は、県税収入などの自主財源よりも地方交付税などの国からの依存財源の割合が高い状態であり、このような地方財政の形態では、地方分権は進まないと考えます。

地方分権の実現には、国と地方の役割を明確にし、役割に見合う財源の確保が必要であると考えます。知事の考えをお聞かせします。

#### 答

地方分権改革の実現のためには、国と地方の役割分担を見直し、地方への事務・権限の移譲や地方が担うべき役割と責任に見合う地方税財政制度の確立などに国と地方が全力で取り組むべきと考えます。

今後、このような点について、地方の意見を反映した議論が行われるよう、全国知事会と連携し国に働きかけていきます。

○公共事業の発注のあり方  
ほか

### 国道23号 中勢バイパス整備

笹井 健司 議員  
(新政みえ/松阪市選出)



#### 問

中勢バイパスは、松阪市から鈴鹿市までの幹線道路で、総延長区間33.8kmのうち、現在57%が供用開始となっています。

地域住民からも早期の全線完成への要望や期待が強くなっており、中でも国道165号と国道163号までの未供用区間の完成による効果は非常に大きいと考えますが、今後の事業計画について伺います。

#### 答

国道165号から国道163号までの未供用区間6kmと鈴鹿市内の2kmについては、平成26年度の供用を目指しており、総延長区間の83%にあたる約28kmが平成26年度までに供用されます。

残りの区間については、早期の全線供用を関係市と共に国に対し強く働きかけるとともに、関係予算の確保に努めます。

○知事の所信  
ほか

